

下水道のありがたさ

宮崎市立国富小学校 六年 多田 純哉

「ひどい臭い、トイレも台所も使えない！
今年七月の熊本県の災害で大きな被害を受け
た人の言葉は、今も僕の心にずっと残ってい
ます。大雨によって下水道から逆流した汚水
が泥と混ざって家屋に入っただ事が原因だっ
たそうです。いつも当たり前のように使ってい
るトイレや台所、お風呂の水は、下水道によ
って支えられているのだと知りました。

この災害をきっかけに、下水道がどのよう
な役割を果たしているのか、どのような歴史
があるのかということに関心を持ち、調べる
ことにしました。

中世時代のヨーロッパの下水は、道路上や
溝に直接流していたので、清潔な環境が保て
なくなり、それが原因でコレラやペストとい
う伝染病が流行したそうです。道路や溝が汚
ないし細菌が町中に繁殖しやすくなるので、
伝染病だけではなく、食中毒も増えて亡くな

る人が多くいたそうです。また、十六世紀のロンドンでは、下水道の改良が始まり、雨水や汚水は水路を通じて河川に流されていたそうです。しかし当時は処理場がなかったため、河川はどろどろ汚くなっていき、同時に伝染病も流行しました。

僕はこの事実を知り、下水道の不整備による被害を出さないためには清潔な日常生活を保つことが大切だということに気付きました。例えば、汚れた水をできるだけ少なくする

ために食事の後の食器洗いをする前にティッシュで汚れをぬぐってから少量の洗剤で洗うことや、洗剤も環境にやさしいものを使うことで水の汚れを少なくすることができます。吸収剤を使ったりして固めて捨てることや、トイレをきれいに掃除することは感染症を防ぐことにもつながると思います。

また、下水処理場では微生物が汚れを食べ、水をきれいにして、その水が海や川に流れるのだと知って水は無限にあるものではなく、

大切な資源なのだ」と強く感じました。プラス
チツワゴミを減らしエコバッグを使うことが
勧められていますのも、海や川を汚さないため
だそうです。ゴミを少しでも減らすことで水
を守ることができると言われ、清潔な水が使え
ることば当たり前ではないと学びました。

自分がお風呂に入る時間になった時、入
りたくないなあ、もっと遊びたいのになあ
と思っていました。しかし、清潔な水が毎日
のように使えることや、汚れた水を処理して
くれる処理があることがとてもありがたいと
いうことを知った今、汚れた水を多く出さな
いために、少しでも自分出来る事をしてい
こうと思います。